

原水爆禁止2014年世界大会へのメッセージ

ここに、「原水爆禁止2014年世界大会」が実施されますこと、また、皆様方が長年にわたり、原水爆禁止活動を継続的に展開されておられますことに心から敬意を表します。

広島と長崎が被爆してから、69年目の夏を迎えようとしています。多くの尊い生命が奪われてから今日まで、私たちは、世界唯一の被爆国の国民として、あの惨禍が絶対に繰り返されることのないよう、全世界に向けて核兵器の廃絶と世界平和を訴え続けていく責務があり、また、平和なくして人類の繁栄はあり得ないと考えております。

このような中で、「原水爆禁止2014年世界大会」が開催され様々な議論がなされることは、大変意義深いことであり、核兵器廃絶と世界の恒久平和に向けた地球規模の行動と連携を発展させるものと信じております。

これまで核兵器廃絶を目指し、活動を続けてこられました皆様を激励申し上げますとともに、核兵器廃絶の日が、一日も早く到来することを祈念いたしまして、メッセージとさせていただきます。

平成26年6月30日

長崎県 時津町長 吉田 義徳